

統計調査員を ご存知ですか？



皆さんは統計調査員をご存知ですか？

統計調査員は統計調査の第一線で、調査票の配布、回収などに活躍していただく方です。

統計調査とは

最も代表的な統計調査は5年に1回実施される国勢調査で、多くの方に知られています。

国勢調査以外にも、労働力調査、家計調査、工業統計調査など様々な調査があり、統計調査から得られ、公表された統計結果は、私たちの暮らしをより良くするために、将来に向けた人口・雇用・経済・生活環境などの分野で、行政施策の基礎資料として活用されています。また、広く一般にも公表され、民間の方々にも活用されています。

調査員の仕事内容

統計調査員は、総務大臣等又は都道府県知事から任命される非常勤の公務員として、統計調査に従事しています。具体的には、調査対象である世帯、事業所を訪問し、調査内容の説明、調査票の配布・回収・点検・整理などを行っていただく方を、統計調査員と呼んでいます。



具体的な仕事の流れ

1. 調査員説明会に出席
市町から調査の依頼を受けたら、調査員説明会に出席し、調査内容、調査方法の説明を受けます。
2. 調査の準備
説明会で受け取った「調査の手引き」をよく読み、調査内容を理解します。
調査を受け持つ地区を確認します。
3. 調査対象を訪問
統計調査の目的などを説明し、調査への回答をお願いします。



4. 調査票の記入依頼

調査対象に調査票の記入をお願いします。

調査票の記入方法を説明し、調査票の回収日時を確認します。



5. 調査票の回収・点検

約束した日時に調査対象を再訪問します。

回収した調査票に記入漏れなどがないかチェックします。

6. 調査票を提出

回収した調査票を決められた期日までに県、市町へ提出します。



以上が仕事の流れとなります。

統計調査員の仕事は統計調査の基本的で重要な部分を受け持っています。

統計調査員が回収した調査票は、「統計」としてまとめられ、統計調査の結果として世の中に公表され、広く利用されています。このため、統計調査員一人一人の取組は、統計の信頼性や正確性を左右することとなり、統計調査の結果を利用して実施される施策の方向性にも影響を与えることになるため、その役割は非常に重要なものとなっています。

おわりに

このように、統計調査員の依頼、回収の積み重ねにより、統計はできています。

統計調査員が調査の依頼に伺った際には、ご理解の上、ご回答をお願いします。

また、各市町では各統計調査の調査員に推薦させていただく調査員候補者を登録調査員として登録し、多くの皆様に統計調査の場で活躍していただいています。大規模な統計調査では、多くの調査員が必要となります。各市町で登録調査員の募集を行っておりますので、気になる方は統計調査員として仕事をしてみませんか？

統計調査員の募集について関心をお持ちの方は、お住まいの県内市町統計担当課にお問い合わせください。

総務省HPを加工して作成

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/2-7.html